



第 42 回フローインジェクション分析講演会に向けて

神奈川工科大学工学部応用化学科 佐藤 生男

本年は異例の早さで春が到来し、瞬く間に緑が目染める季節を迎えております。11月末日に神奈川県厚木市神奈川工科大学で予定されている標記大会は、沖縄での第38回大会以来の単独開催となります。またその意味では21世紀初頭の講演会でもあります。新世紀における「フローインジェクション分析(FIA)」の動向とその展開はこれまでの巻頭言で触れられております。新しい検出原理の創案、精密デバイスの考案による検出感度の飛躍的向上、吸光係数の著しく大きな試薬の開発、バイオアフィニティを駆使した超高感度分析はもとより、実用化と普及などにおけるFIAの各種計測分野に果たす役割と使命は疑う余地の無いところであります。肝要なのは、「若手の研究者・技術者を中心としたワーキンググループ」を発足させ、そこでの斬新な発想、活発な討論を通じて得られた成案を確実かつ果敢に実行に移すことに尽きましよう。平凡なことを申し上げました。

それでは半年後に控えた講演会を前に、その概要を紹介させていただきます。

神奈川工科大学は丹沢山麓に開けた県央の厚木市の北方に位置し、相模川や中津川が近くを流れる風光明媚な土地にあります。東京の副都心、新宿から小田急線急行電車に乗り、小1時間程で本厚木駅に到着し、さらにバスに乗り換えて約20分間の距離にあります。

本学は7学科構成の工学部と前期・後期課程とも全て完成された5専攻の大学院工学研究科を擁し、学部生・院生の総数は約4千名です。神奈川・東京・埼玉などの地元や関東地区からは勿論のこと、北海道から沖縄に至るまで、全県から学生が集まる小規模な単科大学としては珍しい構成になっております。研究・学術面を支援し、かつ先導する機関として総合実験研究センターやハイテク・リサーチセンターが設置され、先端的かつ学際的研究が精力的に行われております。

本講演会は、海外からの招待者も含めた口頭発表を軸とし、ポスター発表を拡充した内容となるように考えております。今後のFIAの進展に寄与する論文が多数集まり、世界に向けて発信する契機に成ればと願い、晩秋の講演会への参加を歓迎いたします。第42回FIA講演会の成功を祈念して。